畠山重忠ゆかりの地

⑦ 東光禅寺（とうこうぜんじ）

畠山重忠の開基により、弘安5年（1282）建長寺第六世大興禅師を請じて開山したと寺伝にあります。本尊は重忠の念持仏であった薬師如来で、脇仏は左に日光、右に月光の二菩薩、さらに、十二神将を従えています。境内には、畠山重忠の供養塔があります。

住所 アクセス
横浜市金沢区釜利谷南2-40-8
京急線「金沢文庫」駅から徒歩25分
バス「白山道」または「白山道公園」下車徒歩5分

上総介広常ゆかりの地

⑧ 上総介塔（かずさのすけとう）

上総介広常は、坂東随一の大豪族領主で2万の兵を率いて頼朝の軍営に参集し鎌倉幕府の樹立に貢献しました。

この塔の主がどの上総介であるかには諸説あるようですが、地元では、上総介広常として伝わっています。道の傍らにある石塔は、昭和59年（1984）に地元の有志により復元されました。

アクセス
京急線・シーサイドライン「金沢八景」駅より
バス「朝比奈」下車すぐ

和田義盛ゆかりの地

⑨ 朝夷奈切通（あさいなきりどおし）

和田義盛の三男・朝夷奈三郎義秀が一晩で切り開いたという伝説から、この名がついています。和田一族滅亡後、鎌倉幕府がこの峠道の開削にかかり、執権北条泰時は自ら現場に出て監督をしたといわれています。

この道が開かれると、江戸の内海や北からの物資は六浦から鎌倉に輸送しやすくなりました。

朝夷奈切通は鎌倉切通の1つで、国の指定史跡になっています。

アクセス
京急線・シーサイドライン「金沢八景」駅より
バス「朝比奈」下車徒歩3分

金沢北条氏一門ゆかりの地

⑩ 称名寺（しょうみょうじ）

金沢北条氏一門の菩提寺。鎌倉幕府の要人・北条実時が六浦荘金沢の屋敷内に建てた持仏堂が起源とされます。実時の孫・貞顕の時代には三重塔を含む七堂伽藍を完備した大寺院として全盛期を迎えました。春の桜、初夏の黄菖蒲、秋の紅葉と四季折々の景観が美しく訪れる人の憩いの場所となっています。例年5月初めに境内で薪能が開演されます（令和4年は他会場で実施予定）。

住所 アクセス
横浜市金沢区金沢町212-1
京急線「金沢文庫」駅から徒歩12分
シーサイドライン「海の公園南口」駅または「海の公園柴口」駅から徒歩10分

⑪ 神奈川県立金沢文庫

北条義時の孫にあたる北条実時がその邸宅内に造った武家の文庫に起源をもつ博物館です。

館内には、国宝・重要文化財に指定された数々の彫刻・絵画・古文書等が展示されているほか、1階奥に称名寺金堂の内部が復元されています。

施設情報
開館時間　9時～16時30分（入館は16時まで）
休 館 日　月曜日（祝祭日の場合は開館、翌日休館）、年末年始
※館内整備等のため臨時休館あり
住　　所　横浜市金沢区金沢町142
アクセス　京急線「金沢文庫」駅から徒歩12分
シーサイドライン「海の公園南口」駅から徒歩10分

特別展も開催中！！　詳しくは下記HPまで
県立金沢文庫　検索

NPO法人 横濱金澤シティガイド協会

横浜金沢の歴史にかかわる街歩きはこちらへ。
参加募集中のガイドコースやおすすめコースの情報を掲載しています。

http://yokokanaguide.org/

スマートフォンからはこちらの二次元コードをご利用ください。

ホームページ　LINE

LINE･･･ともだち追加で募集中のガイドコースをお知らせ

令和4年3月発行
金沢区役所地域振興課　横浜市金沢区泥亀2-9-1
TEL:045-788-7802　FAX:045-788-1937

鎌倉殿×横浜金沢

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも話題の鎌倉時代。鎌倉時代に幕府隣接の港町・六浦湊として栄えた金沢区には、鎌倉時代の武将ゆかりの地が点在しています。ぜひ、横浜金沢で鎌倉時代を旅してください。

横浜金沢の観光情報
もっと詳しく知りたい方はこちら！

◆一般社団法人 横浜金沢観光協会

- 横浜金沢は海と緑と歴史のまち　おすすめ観光スポット盛りだくさん
- イベント情報・おすすめコース・観光スポット・金沢区の紹介・アクセスなど掲載

☎045-780-3431
https://yokohama-kanazawakanko.com/

スマートフォンからはこちらの二次元コードをご利用ください。

ホームページ　Instagram

北条政子ゆかりの地

④ 琵琶島神社（びわじまじんじゃ）

治承4年（1180）、源頼朝が三島明神を勧請して瀬戸神社を創建した時に、夫人の北条政子が夫にならって、日頃信仰する琵琶湖の竹生島弁財天を勧請して、瀬戸神社近くの海中に島を築いて創建したと伝えられています。

住所 アクセス
横浜市金沢区瀬戸2
京急線・シーサイドライン「金沢八景」駅から徒歩3分

源範頼ゆかりの地

⑤ 薬王寺（やくおうじ）

源頼朝の弟・三河守源範頼は、伊豆修禅寺にて梶原景時に攻められ自刃したといわれています。源範頼の別邸の地、瀬ケ崎に範頼の霊を弔うために建立された真言宗の寺で、薬師寺と称し、衰えましたが再興され、その後三療山薬王寺となり現在にいたります。本尊の薬師如来は、源範頼の念持仏といわれています。鎌倉時代末期の聖観音菩薩像、金剛界・胎蔵界曼陀羅等の昔からの法具が伝わっています。源範頼の位牌を祀り、毎年8月24日の命日には「三河忌」として追善供養を行っています。

住所 アクセス
横浜市金沢区寺前2-23-52
シーサイドライン「海の公園南口」駅から徒歩5分
京急線「金沢文庫」駅から徒歩15分

⑥ 太寧寺（たいねいじ）

太寧寺の前身は、源範頼により瀬ケ崎に創建された真言宗の薬師寺といわれています。この薬師寺は、寺前に移転し現在の薬王寺となり、当初の薬師寺のあった場所に範頼の菩提のため鎌倉時代に範頼の戒名に因み、太寧寺が開かれました。その後、昭和18年（1943）に現在地へ移転。

住所 アクセス
横浜市金沢区片吹61-5
京急線「金沢文庫」駅から徒歩15分

鎌倉殿×横浜金沢 みどころマップ

源頼朝ゆかりの地

1 瀬戸神社（せとじんじゃ）

元来、この地は入海の瀬戸（狭い海峡）で干満時に急流となり、海上交通の難所であったため、5～6世紀の頃から海神を祀っていたようです。この霊地に源頼朝が挙兵に際して戦勝を祈願した、伊豆三島明神を勧請したのが瀬戸神社の始まりです。鎌倉時代から伝わる多数の文化財が保存されており、なかでも源実朝が使用し、母の北条政子が奉納したといわれる舞楽面二面（抜頭面と陵王面）が平成12年（2000）、国の重要文化財に指定されたことが特筆されます。

住所 横浜市金沢区瀬戸18−14
アクセス 京急線・シーサイドライン「金沢八景」駅から徒歩2分

2 富岡八幡宮（とみおかはちまんぐう）

建久2年（1191）に源頼朝が、鎌倉の鬼門にあたる富岡に鬼門除けとして造営し、摂津西宮神社の蛭子尊の分霊を勧請したのが始まりとされています。鎌倉 鶴岡八幡宮と同じ頃の創立の古社です。

住所 横浜市金沢区富岡東4-5-41
アクセス 京急線「京急富岡」駅から徒歩8分
シーサイドライン「並木北」駅から徒歩10分
バス「宮の前」下車徒歩3分

3 龍華寺（りゅうげじ）

源頼朝が瀬戸神社を建立した後、文覚上人と共に瀬戸神社の別当寺として六浦山中に建てた「蔵福寺（のちに浄願寺と改名）」が始まりといわれています。その後、戦乱や火災で浄願寺の伽藍が荒廃したため、明応8年（1499）融弁上人（ゆうべんしょうにん）が、兼務していた光徳寺と併合し、当地に移り、龍華寺となりました。
牡丹などの華の寺としても知られます。

住所 横浜市金沢区洲崎町9-31
アクセス 京急線・シーサイドライン
「金沢八景」駅から徒歩8分